

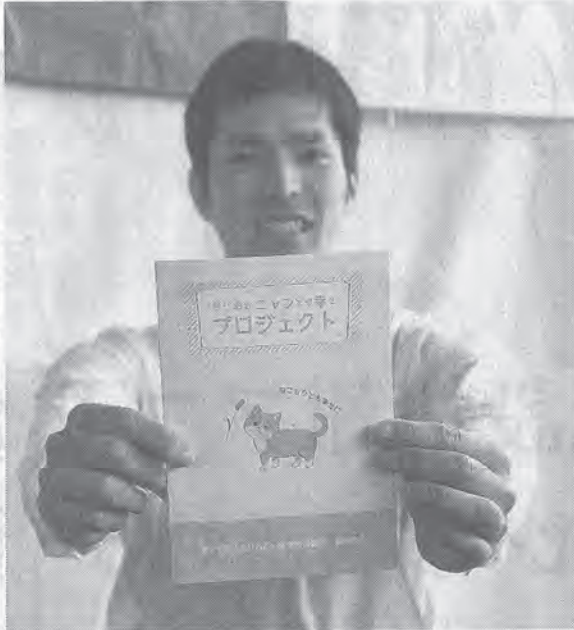
# 保護猫 理解広がれ

## 盛岡のNPO法人もりねこ

盛岡市のNPO法人もりねこ(工藤幸枝理事長)は14、15の両日、捨て猫や野良猫の現状に理解を深め、保護された猫を新たな飼い主に引き継ぐイベント「ニャンとも幸せ譲渡会」を同市本宮のイオンモール盛岡南で開いている。保護猫の正しい飼育方法を伝えているほか、同法人や市の取り組みを紹介する冊子も配布。同市では2017年度、保護した猫の殺処分ゼロ(安楽死除く)を達成しており、命を大切にする社会づくりを呼び掛けている。

# 殺処分の現状、冊子に

## きょうまで譲渡イベント



保護猫の現状について理解を深めてもらう冊子



譲渡会で並んだ保護猫をのぞき込む親子

講演会では市保健所の獣医師がペットが多すぎて飼育しきれない「多頭飼育崩壊」などを説明。譲渡会では保護猫10匹が並び、愛くるしい猫の姿を見ようと、行列ができた。

祖父母と訪れ、雌猫の譲り受けを希望した中関日良莉さん(見前小5年)は「以前から猫が好きで、いつか飼いたいと思っていた。育てるのが楽しみ」と目を輝かせた。

同法人が3月に作成した冊子はA5判126頁。殺処分の現状、実際に里親となった人のメッセージなどが掲

載され、約千部を無料配布している。市保健所は17年度から同法人などと連携し、保護した猫の一時預かりや新たな飼い主への譲渡を行う協働事業を展開している。

2018年4月15日付

この記事・写真等は岩手日報社の許諾を得て掲載しています。